



秋葉 区

案

①

里山と水に囲まれて 花と緑あふれる
笑顔咲きそろうまち

案

②

笑顔が似合う にぎわいのある
花と緑と石油の里

案

③

花と緑あふれ にぎわいのある
里山のまち



※写真等はイメージです。



区の特徴

緑豊かな秋葉丘陵と、信濃川や阿賀野川など自然豊かな環境を貴重な財産にとらえ、市民協働の活動による里山や水辺の保全につとめるとともに、秋葉丘陵を人・組織、遊び場・学びの場、健康やにぎわいづくりの拠点に位置づけ里山文化の創造を図っています。

日本有数の花き・花木の産地、古津八幡山遺跡や新津油田の国史跡※やSLばんえつ物語号の定期運行など、花のまち、石油のまち、鉄道のまちとして知られています。

区の概要

① 地勢

秋葉区は、新潟市の南東に位置し、東西を阿賀野川、信濃川の二大河川に囲まれ、北には小阿賀野川、区の中央には能代川・新津川が流れるほか、南には秋葉山、菩提寺山などの里山・丘陵地に囲まれた緑豊かな自然環境に恵まれています。

面積は95.38km²で、8区の中では西蒲区、北区、南区に次ぐ面積となり、全市域の約13%を占めています。



② 産業

花き・花木や球根の生産地として区の大きな特色の一つであり、特にアザレア、ボケは日本有数の産地として知られています。

さらに、産学官連携による、まちなかの活性化に向けた活動や、里山資源の活用などを含め新しい地場産業の形成を目指しています。



③ 交通

国道403号が南北に、国道460号が東西に通っているほか、新潟と福島を結ぶ磐越自動車道の新津インターチェンジ、新津西スマートインターチェンジがあります。鉄道は、区内に7つの駅が設置されており、新津駅では、JR信越本線、羽越本線と磐越西線が交わっています。磐越西線を走る「SLばんえつ物語」号が、4月～11月の週末を中心に運行しています。バスは新津駅を中心にし中心部、南区や五泉市方面などへ運行され、区民の足として区バスを運行しています。



*国史跡 … 文化財保護法に基づいて指定されるもので、遺跡のなかで重要なもの。

区の将来像

里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち

目指す区のすがた

環境に配慮したうおいとやすらぎのあるまち

- 里山の拠点性を高め、人・組織の充実と学びの場の提供や健康づくりへつなげ、賑わいを創出し、愛着と誇りを持てる里山文化※の創造を目指します。
- 緑豊かな里山秋葉丘陵と信濃川や阿賀野川、などの河川はやすらぎと潤いをもたらし、恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべき貴重な財産として、人と自然が調和した美しい景観保全と活用を図ります。
- 環境に配慮したライフスタイルへの転換を市民・事業者・行政がそれぞれの役割に応じ、主体的かつ協働により取り組み、まちづくりと一体となった脱炭素※に向けたエネルギーの地産地消を推進するとともに、自立分散型の再生可能エネルギー※システムの構築を図ります。



楽しく元気なまちなかやさしさのあるまち

- 産学官、地域が連携した、活気あふれる、楽しく、元気なまちを目指します。
- 地域との協働による、持続可能なまちづくりのための強固な土台づくりに努め、安心・安全なまちを目指します。
- お互いを思いやる心、地域でともに助けあい支えあう心、自然にも人にもやさしい心を育み、誰もが笑顔ではつらつと暮らせるまちを目指します。
- 秋葉区の特徴を活かしながら、地域と一体となった魅力ある子育て・教育環境により、次世代を育むまちを目指します。



*里山文化 … 秋葉区ならではの地域性や関連施設、里山活動団体等の取り組み

*脱炭素 … 地球温暖化の原因となるCO₂などの温室効果ガスの排出を防ぐために、石油や石炭などの化石燃料から脱却すること。

*再生可能エネルギー … エネルギー源として持続的に利用することができる再生可能エネルギー源を利用することにより生じるエネルギーの総称。

歴史と個性を活かすまち

- 里山や鉄道、石油、花き・花木、町屋など、歴史ある文化や宝物を地域とともに、内外へ積極的に情報発信することで、関係人口※を増やし、様々な視点から、個性を活かした交流のあるまちを目指します。
- 秋葉区固有の文化の継承と創造による文化活動の振興と、健康で豊かなスポーツ活動の振興に努め、身心ともに健全に過ごせるまちを目指します。



育て・生み出し・活かすまち

- これまで培われてきた産業や秋葉区特有の地域資源を活かしながら、次世代へ向けた新しい技術や産業を生み出し、新たな可能性を発信するまちを目指します。
- 全国屈指の花き・花木の園芸産地としての拠点性を一層高めながら発信するとともに、環境にやさしい安心・安全な農産物の供給を目指します。
- 地域の暮らしや教育、産業など様々な分野でデジタル化によるイノベーション※を図り、全ての人がデジタル化によるメリットを享受できるまちを目指します。



「アキハスムプロジェクト」との関係

秋葉区が取り組む、「アキハスムプロジェクト」は「住む」という視点で捉えた秋葉区の6つの魅力(里山・食・花・鉄道・川・歴史)を挙げ、これらを立体的にデザインすることで、秋葉区に「住む」価値などを提案し、移住・定住の促進を図る。住んでいる人も・住んだ人も「住んで良かった」と思えるプロジェクト。区ビジョンに掲げる目指す区のすがた、それを実現するあらゆる施策・事業のすべてがアキハスムプロジェクトが掲げる理念につながるものです。



*関係人口 … 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々。

*イノベーション … 「革新」・「刷新」や「技術革新」、「新たな活用法」。